

# 除排雪に関することは 除排雪対策本部へどうぞ

除排雪対策本部 tel(864)3643  
(道路維持課)



市では、安全で安心して通行できる冬の道路交通を確保するため、11月15日に「除排雪対策本部」を設置し、『冬将軍』の到来に備えています。

市では24時間体制で対応していきますが、除排雪には、市民のみなさん一人ひとりの力がどうしても必要です。

この冬も市民のみなさんのご理解とご協力をお願いします。

対策本部からのお願いです

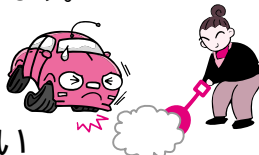
敷き鉄板などの障害物は取り外して車庫前の段差をなくす鉄板などは、除雪車で引っかけてしまうと周囲の物を傷つけてしまうこともあり、大変危険です。



路上駐車は絶対に禁止！  
除排雪作業が後回しや中止になってしまいます。

道路に雪を出さないで  
空き地をご提供ください

除雪した雪を置く場所がないと、道路の端に積みあげていくしかありません。町内単位の雪の置き場所として提供していただける土地がありましたら、ぜひご連絡ください。春に、市が責任をもって清掃や補修をしてお返しします。



## 地域の除排雪を応援

### トラックなどをお貸しします

市では、町内や地域のみなさんで除排雪を行う場合、運転手付きのダンプトラックまたはローダ(雪の積込機械)のいずれかを、運転手付きで無料でお貸しします。町内会長さんか地区の代表のかたを通じてお申し込みください。

### 路面凍結抑制剤をさしあげます

町内で坂道や交差点などに散布する場合、無料でさしあげます。町内会長さんか地区の代表のかたを通じてお申し込みください。

## 堆雪場はこちら

旧空港跡地 飯島事業所跡地  
雄物新橋下流の北側河川敷

どなたでも終日利用できます

### 利用されるかたへのお願い

手形山崎の営林局貯木場跡地は、今年の冬から利用できません

堆雪場は奥から利用しましょう。入口付近に雪を捨てると有効に利用できなくなります  
付近に迷惑をかけないように、ルールとマナーを守りましょう

土砂やゴミなどを捨てないでください



## 高齢者の雪よせをお手伝い

お年寄りのかたで、宅地内の雪よせが大変なかたに、シルバー人材センターの生活援助員がお手伝いします。事前にお申し込みください。

### ご注意！

- \* 屋根の雪下ろしや除雪車が通った後の雪のかたまり、凍った雪の破砕などは対象となりません。
- \* 降雪量が多くなると依頼が集中するため、すぐに生活援助員が行けない場合もあります。

対象者

おおむね65歳以上のひとり暮らし、または高齢者のみの世帯のかた

利用回数

1週間に1回(1回1時間以内)

利用料

1回150円(生活保護世帯などのかたは軽減措置があります)

### 申し込み

高齢福祉課tel(866)2095、または最寄りの在宅介護支援センターへどうぞ。

なお、年末年始にあたる12月29日(水)~1月3日(月)は申し込み・ご利用ができません。

# 郷土で協働

新屋地区では、町内会長と市の担当者、地区の除雪業者が集まって、今シーズンの除雪について意見交換しました。



地域の除排雪に参加と協力を！  
**冬のあきたは  
みんなが主役！！**

今年も、手ごわい冬將軍がやってくる季節になりました。みなさん、冬支度は万全ですか。

秋田市では、冬の暮らしを快適に保つため、行政と市民、企業が三位一体となって、道路の除排雪作業に取り組んでいきます。

## どうしたらいいか…

秋田市が除雪を行う道路の総延長は、一五五〇<sup>キ</sup>。この距離を、市と委託業者が協力し、除雪作業にあたります。

市民のみなさんには、除雪車が通った後にたまる玄関先や車庫前の雪の処理をお願いします。しかし、昨年は「除雪車がいつ来るのか分からないため、玄関先や車庫前の雪寄せに対応できない」「もっと早めに除雪してほしい」と言った意見や要望が多く寄せられました。

市では、みなさんの意見を参考に、地域に除雪車の出勤日を知らせるための連絡網や、地域ごとにまとまった行動をおこせる体制を整える必要があると考えています。そんな中、地域の人が中心となって除排雪作業に取り組み、ほかの地域のモデルとなっているところもあります。

## 地域の力が一つに

広面の山崎団地町内会では昨年十二月、町内の除雪や高齢者世帯への除雪協力などを活動内容に盛り込んだ「自

主防災組織」を設置し、昨シーズンは四回の除雪活動を行いました。

昨年の町内会長・木谷昇さんは「組織を立ち上げたことで、市から直接除雪の連絡が入るようになりました。また、雪の多い日は、こちらから市に除雪をお願いをしたり、地域をあげて雪寄せに取り組むこともできました。今シーズンもこの活動は続けていきたい」と、この冬も準備万全の様子。

また、新屋北浜町の一部の班では、二月に市から排雪用のダンプを借りて小路の雪寄せに汗を流しました。班長の遠藤不二彦さんは「昨シーズンの雪寄せには、班内のほとんどの世帯が参加してくれてうれしかった。今シーズンは雪の状況を見ながら、ほかの班にも呼びかけて、今まで以上に取り組みたい」と話します。

## まちにもっと関心を

秋田市では、こうした地域が増えるよう、各地に向向いて市の除排雪対策の現状をPRしています。みなさんの意見や要望に耳を傾け、除雪について同じ目線で一緒に考えていきたいと思っています。いま必要なのは、積極的に意見を出し合い、満足感や達成感にもつながるような除排雪対策を、行政・市民・企業が一体となって作り上げていくことです。

今年も、行政と市民、企業のパートナーシップで、雪国あきたを快適に過ごしましょう。



道路脇の雪を運び出して、通りやすい道に(新屋北浜町)



力を合わせれば町内の雪も一気に片づきました(山崎団地)